

放課後等デイサービスASTEP

ASTEP長岡京

～ Assistance in Social Independence ～

私たちのミッションは、お子さまのキャリア形成を促進し”より良く生きる、より強く生きる”ための一助となることです。





アステップ

“ASTEPとは？”

After School Time Education Program の頭文字をとってASTEP（アステップ）といいます！

障がいのあるお子さん（小学1年生～高校3年生）を対象として放課後の時間を利用して療育を行う施設です。

主として、**生活能力の向上を目的とした支援**を行いながら、社会との交流を促進するための多様な関わりを実践します。





営業時間

月～金曜日：11：00～19：00（17：30から順次お送り開始）
土・休校日：9：00～17：00（16：00から順次お送り開始）



サービス対象者

知的障がい・精神障がい・身体障がい・発達障がいの
小学1年生～高校3年生までの児童



ご利用定員・地域・料金

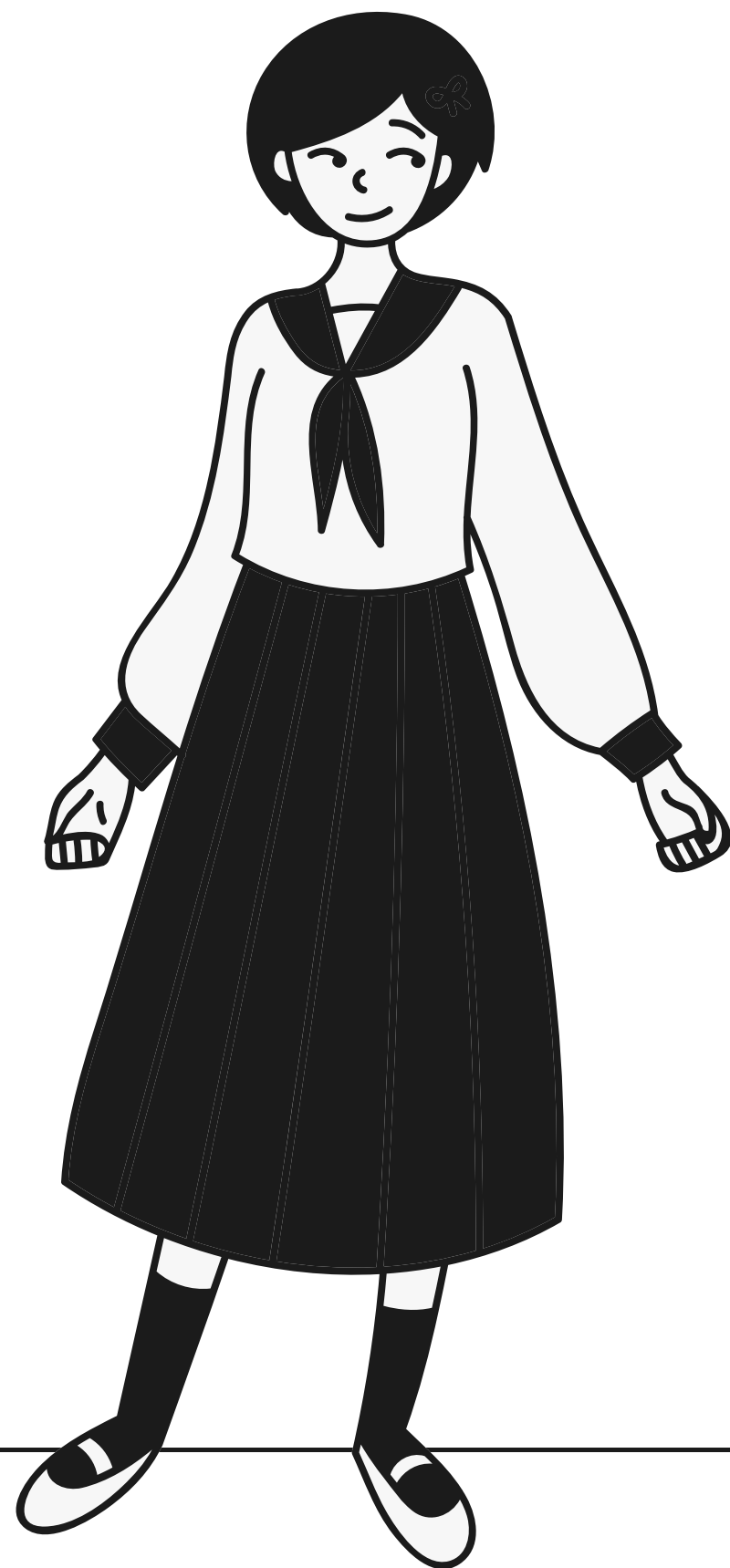
定員：10名/日

地域：向日市・長岡京市・乙訓郡大山崎町
伏見区・西京区・南区の一部

※ ASTEP長岡京は乙訓圏域と伏見区の一部のみ

料金：各自治体が定めた料金 + おやつ代等（100円/日）





“社会自立へ向けた 成長の一助となる”

ご自身の特性と向き合い、上手く付き合っていく方法を共に模索し” **自分探しのお手伝い**” 丁寧な関わりの中で” **子どもの成長力を促す**” ことを行っていきます。

成長させるのではなく成長を促す…『主体は子ども』の視点で、実りある関わりを深めていきます。

“好奇心”



社会的スキルを身につけること以前に大切なこと…
それは「**好奇心の強さ**」です。

楽しいだけの活動ではなく、好奇心をくすぐるアプローチを日々の活動の中で繰り返し行い、新たなステージへ挑戦する姿勢を育むための支援を行います。

“寄り添い,促す”



子どもたちに対し「発達させる」「成長させる」という思考でのアプローチはしておりません。

” **お子さまがもともと持っている成長する力**” を効果的に発揮できる環境・目標の設定を適切に行い、日々成長してゆくお子さんに、一定時期に評価をします。

🎓 療育に特化する

🎓 SSTとLST

🎓 個別療育



療育に特化する

療育に特化するとは…

今、必要とするべきこと（強みや課題など）を明らかにし、評価・反省を繰り返しながら個別化されたアプローチを行うことです。



SSTとLST

お子さま自身のライフスキル・ソーシャルスキルを把握した上で専門的なトレーニングを行い、安定した日常生活を送る術を知り、人と関わる術を学びます。



個別療育

土曜日（隔週）を基準として、ニーズと目標に合わせてカスタマイズした療育活動（約1時間）を行い、自立した生活を送ること目標とした支援を行います。

また、個別療育で行った課題を適切に評価し、集団療育においてその成果を最大限発揮できるよう、社会自立のための土台を作っていきます。



社会体験活動

企業（TOYOTA、就労支援施設等）の協賛により、仕事体験を行っています。
社会進出への意識や意欲を引き出すとともに、社会の厳しさやギャップを埋めるための活動です。

園芸活動

『農福連携』を体現するための活動を行っています。
食物が育つ過程での手間や労力を体験します。食に対する知識や技術、社会性を総合的に習得することを目的としています。 ※ 活動は主に土曜日

個別のキャリア療育

ASTEPの理念を反映した独自のプログラム「キャリアの形成を促進する療育」により、知識や技能の実用化を目指し、個別（マンツーマン形式）で療育支援を行っています。

個々に必要とする領域を設定し、新しい視点からアプローチを行う療育です。

◎ 取り組みの実績

ソーシャルスキルトレーニング、ライフスキルトレーニング、ASTEPノートアナログゲーム、ビジョントレーニング、PC・ICT（基本操作など）

※ その他、食育活動、学習支援（教職免許保有）、季節行事（餅つき大会・梅狩り等）月1のイベント等、幅広い活動を行い、成長を促す取り組み・機会を設定しております。



“連携” について



ASTEPで行う療育は、お子さんを正しく評価し、最大限に効果を吹き出すプログラムを実践しております。とはいえ、療育を実践する時間は有限であり、ASTEPで行う療育だけでは限界があります。

より効果的に成長を見込むために、生活のメインであるご家庭や学校との連携を非常に重要視しております。私たちは、保護者支援や就労に係る支援等、**一歩踏み込んだ支援**が必要だと考えています。

効果の定着を図るため、ASTEPからご家庭での関わり方のヒントや助言を提示させていただいたり、学校への情報提供も積極的に行っております。親御さんに対しては、**実生活での様子等の情報共有**をお願いしております。

ASTEPの 「療育支援10ヶ条」

療育支援のイメージをお伝えします！

第1条 子ども主体



キーワード

- ◎ 現実味のある自主性
- ◎ 誰が困っているのか？主人公にするべきは子ども自身



第2条 強みを評価し役割を与える

◎ キーワード

- ◎ 子どものできること、こだわりを持っている箇所に目を向ける
- ◎ できることやこだわりは、子どもの役割になる



第3条 声掛けと言葉掛けの使い分け

◎ キーワード

- ◎ 声掛けというのは、単純に「声」だけであり「音」
- ◎ 声掛けを行ったうえで、意味のある言葉や説明する行為、これが”言葉掛け”

第4条 自立心と好奇心

🏆 キーワード

- ◎ 基本的に「できることの範囲内で行う」
- ◎ 目標設定の理想は「できる範囲（持っている力）の少し上

第5条 事前準備が9割

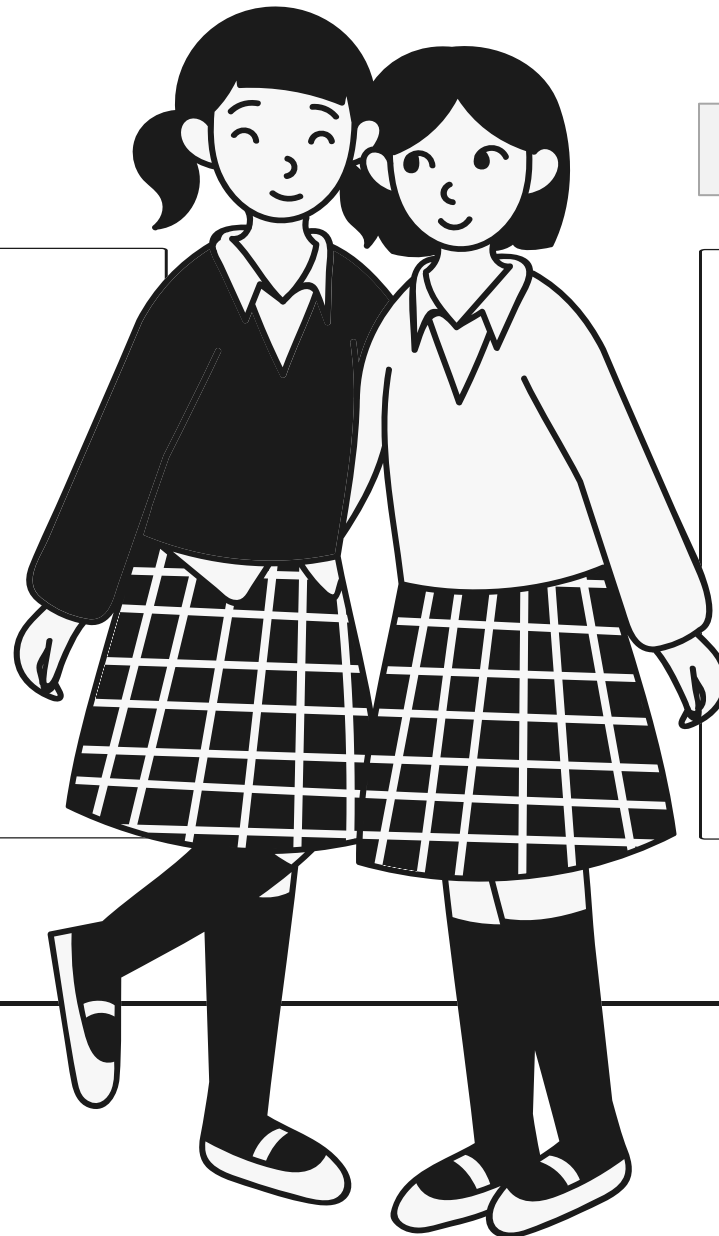
🏆 キーワード

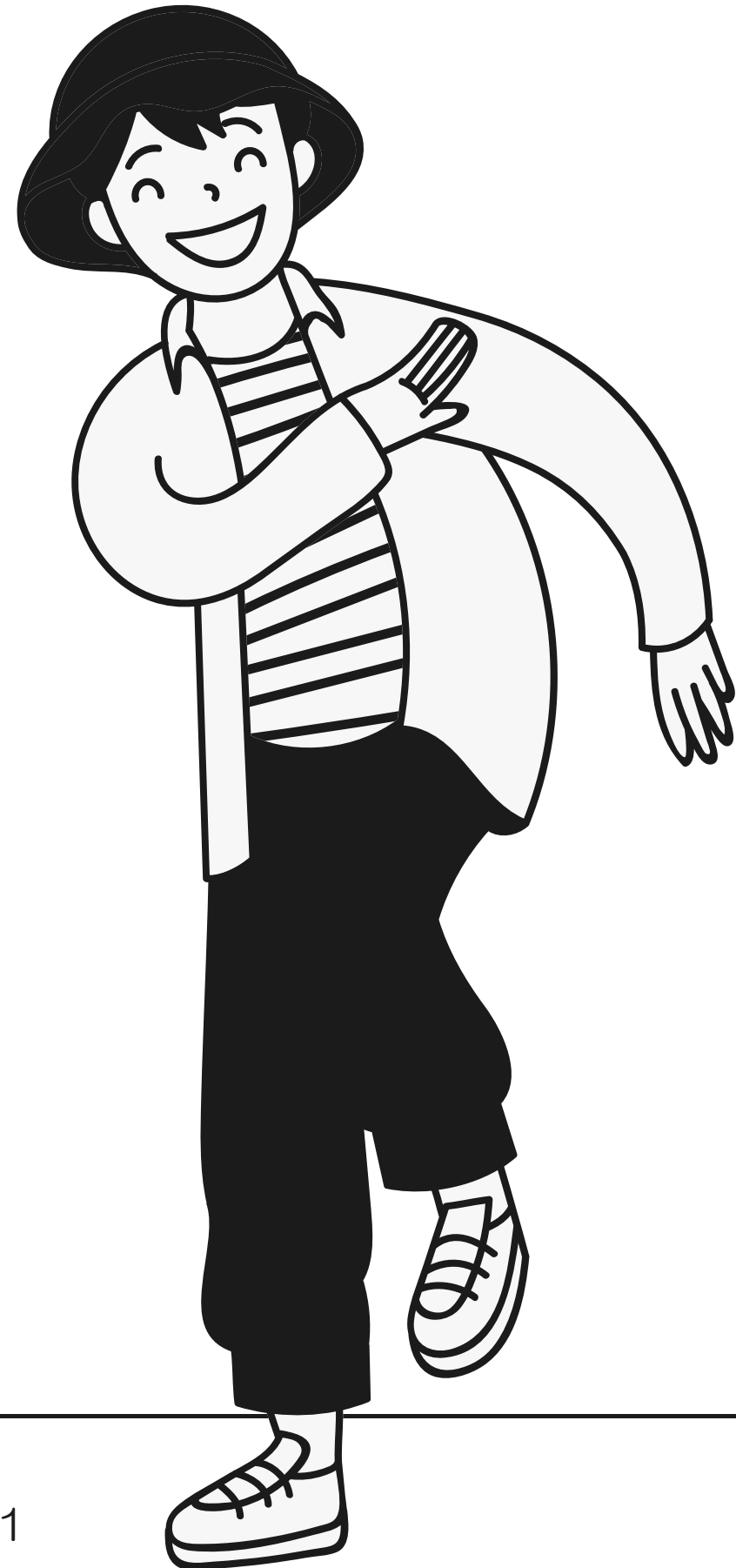
- ◎ 「問題がない状態」や「問題が軽減されている状態」を作り出すイメージを持った事前準備

第6条 分からないが大前提

🏆 キーワード

- ◎ 子どもの能力を否定することは絶対にNG
- ◎ 私たち大人（親御さん・支援者）が知っていることを、子どもたちに知らせ伝えていく





第7条 言葉でのコミュニケーション

◎ キーワード

- ◎ その相手の言葉を「待つ」のもコミュニケーション
- ◎ 子どもが考えている時間は、コミュニケーション力を身につけている時間

第8条 子どもとの関わりのスタンス

◎ キーワード

- ◎ 関わること＝支援ではない
- ◎ ある程度の距離で、子ども自身で考えさせる。
SOSが出たときに、SOSの質を見極めて適切な支援に入る。

第9条 自己肯定感を育てる工夫

◎ キーワード

- ◎ ASTEPに来ている時間はたった数時間…限られた時間で、自分を認めていける環境づくり
- ◎ 自己肯定感を育てる継続的な取り組み

第10条 ご家庭との連携

◎ キーワード

- ◎ ご家族さまの協力が絶対的に必要不可欠
- ◎ 統一性を持った支援目標への連携体制




私たちASTEPは、“子守り”はしません。
“療育”をします。したがって、テレビゲームやモニター等は、一切設置しておりません。

常に良い方向に成長するかといえはそうではないかもしれませんが、その過程は“成長”に必要不可欠なものであると考えています。

子ども自身が「今」楽しい！だけではなく、将来を見据えた楽しさ（できたら楽しいだろうな）を増やすこと、そして、選択肢を広げることに目を向けながら、“より良く生きる、より強く生きる”ための支援を行っていきます。





本日は、見学にお越しいただき
誠にありがとうございました！

放課後等デイサービスASTEP・ASTEP長岡京

ホームページ
QRコード

